



* 2010 年 7 月 16 日、米国にて発表されたプレスリリースの全訳です。
同発表に関するカンファレンス・コール/ウェブキャスト再生、プレゼンテーション資料、および関連資料等は、GE ウェブサイト内「インベスター・リレーション」(http://www.ge.com/investors/events/event_id07162010.html) をご覧下さい。

PRESS RELEASE

GE、2010 年度第 2 四半期の業績を発表

継続事業の 1 株当たり利益は 2 桁増の 0.30 ドル

GE キャピタルの利益は 93%増の 8 億 3,000 万ドル、税引き前利益は 7 億 4,100 万ドル

2010 年度第 2 四半期の決算ハイライト (GE に帰属する継続事業)

- 1 株当たり利益(EPS)は 15%増の 0.30 ドル、利益は 14%増の 33 億ドル。
- 総売上高は 4%減の 374 億ドル。
- 総受注高は 8%増の 192 億ドル。設備・機器の受注高は 17%増。
- GE キャピタルの損失は底打ちし、利益は回復基調。
- 産業分野事業の営業活動による今年度累計キャッシュフローは 63 億ドル。
- 現金および現金同等物の連結期末残高は 740 億ドル。
- 産業分野事業の利益率は前年同期比 70 ベースポイント増の 17.1%と堅調。

2010年7月16日【米国コネチカット州フェアフィールド】

GEは本日、2010年第2四半期(2010年4-6月)の業績を発表しました。(GEに帰属する)継続事業からの利益は33億ドル、普通株1株当たり利益は前年同期比15%増の0.30ドルとなりました。当四半期の総売上高は、GEキャピタルの資産縮小、産業分野事業の事業譲渡および設備・機器の売上高減少が当初の見込みどおり推移した結果、前年同期比4%減の374億ドルとなりました。

GE のジェフ・イメルト会長兼 CEO は、当四半期における受注、利益率、利益の増加その他の改善兆候を例に挙げ、次のように述べています。「当社を取り巻く経済環境は引き続き好転しています。設備・機器全体の受注高は 17%増加し、セグメント別では、エネルギー・インフラストラクチャー事業で 20%増、テクノロジー・インフラストラクチャー事業で 14%増となりました。オイル&ガス、ヘルスケア部門の受注はとりわけ好調で、為替の影響を除いた総受注残水準の維持に貢献しました。」

「当社の事業ポートフォリオ全般にわたり堅調な業績を達成しました。エネルギーおよびテクノロジー・インフラストラクチャー事業は期待どおりの成果を挙げ、ホーム&ビジネス・ソリューションズおよび NBC ユニバーサルの上、利益は好調な伸びを示しました。また、GE キャピタルは損失が底打ちし、利益回復の過程にあることから、利益 93%増を達成しました。」

「GE キャピタルの利益増、損失の減少、税引き前利益 7 億ドルという結果は大変心強いものです。主要業績評価を見ると引き続き改善しており、損失、減損金額は前四半期比 5 億ドル減少しました。消費者向け事業の損失は 4 億ドルの減少、不動産事業の損失は想定範囲内でした。これまで 1 年にわたり金融事業の基盤を強化した結果、GE キャピタルの利益回復が続くものと考えます。」

「当社は当四半期、戦略的な前進を遂げました。具体的には、中国航空工業集团公司 (China Aviation Industry Corporation: AVIC)と当社の合併会社が、最新鋭機 C919 (単通路型機材) の航空電子システムパッケージの採用先として指名されたことを発表しました。これにより C919 は、航空機史上もっとも多くの GE 製品を搭載することになります。また、お客様のムダをなくし、効率を改善するためのコンサルティング機能を拡充すべく世界規模での GE ヘルスケア・パフォーマンス・ソリューションズ(Global GE Healthcare Performance Solutions Business)事業の設立を発表しました。また、GE キャピタルは先般、BAC Credomatic の売却を発表しました。これは、期末純投資額を一定の水準に絞り込むという我々の全般的な戦略に沿ったものです。」

「当四半期、当社は強い実行力を発揮しました。産業分野事業の利益率は前年同期比 70 ベースポイント増の 17.1%まで改善しました。我々は引き続き将来の成長分野への投資を行っており、上半期の研究開発投

資を 14%増加しました。産業分野事業の営業活動による当四半期キャッシュフロー総額は 38 億ドルで、今年度通年目標である 130～150 億ドル達成に向けて順調に推移しています。当四半期末の現金および現金同等物の連結期末残高は 740 億ドルでした。」

当四半期に利益を計上した項目が、最終的には費用に相殺された結果となりました。税引き後の 1 株当たり利益が 0.01 ドルであったものの、税引き後に 1 株当たり事業再編その他費用で 0.01 ドルを計上したことにより相殺されました。

「GE は、事業ポートフォリオ全般にわたり、競争力・財務力両面において好位置を確保しています。当社は今後とも堅調なキャッシュフロー創出を続け、株主価値創出に向けた戦略的投資を行うと共に、安全確実な経営を続けます。2011 年度以降は、利益および配当の増加を見込んでいます」とイメルトは述べています。

2010 年第 2 四半期の決算ハイライト

GE に帰属する継続事業からの利益 は、前年同期の 29 億ドルから 14%増の 33 億ドルとなりました。継続事業からの 1 株当たり利益は、前年同期比 15%増の 0.30 ドルとなりました。セグメント別利益は、GE キャピタルが同 93%増、NBC ユニバーサルが同 13%増、ホーム&ビジネス・ソリューションズ事業が同 59%増となり、テクノロジー・インフラストラクチャー事業の 11%減の影響を大幅に圧縮し、全体では前年同期比 8%増となりました。

非継続事業の実績を含めると、当四半期の GE に帰属する純利益は 31 億ドル（普通株 1 株当たり 0.28 ドル）となりました。なお、前年同期の純利益は 27 億ドル（普通株 1 株当たり 0.25 ドル）でした。

売上高は、4%減の 374 億ドルとなりました。GE キャピタルサービス(GECS)の売上高は、前年同期比 2%減の 131 億ドルとなりました。産業分野事業の売上高は同 6%減の 244 億ドルとなりました。

GE 産業分野事業の営業活動による上半期キャッシュフロー総額は前年同期の 70 億ドルから 10%減の 63 億ドルとなりました。

注：別紙の財務諸表には、当社の財務状況、業績およびキャッシュフローを測定するうえで不可欠な情報が含まれています。

* * *

GE について

GE は、世界各国においてインフラストラクチャー、金融、メディアの分野で事業を展開し、世界が直面している困難な課題の解決に貢献しています。航空機エンジン、発電をはじめ、金融サービスやヘルスケア・ソリューション、テレビ番組の編成にいたるまで、幅広い商品とサービスを、世界 100 カ国以上のお客さまに提供しており、約 30 万人の従業員を擁しています。詳細は、GE のホームページをご覧ください。GE は、日本においても 100 年以上にわたって事業展開しており、社員は約 5,000 人を数えます。日本における GE の事業・活動等については、<http://www.ge.com/jp/> をご覧ください。

「将来予想に関する記述」について

この文書には「将来予想に関する記述」、すなわち過去の出来事ではなく、将来に関する記述が含まれています。「将来予想に関する記述」では、予想される将来の業績、財務成績、財政状況にしばしば言及し、「期待する」「予想する」「つもりである」「計画する」「信じる」「捜し求める」「見込む」「～であろう」といった言葉を含むことがよくあります。「将来予想に関する記述」はその性質上、程度の差はあれ不確実な事柄に言及します。GE の実際の業績は、「将来予想に関する記述」で述べた内容と実質的に異なる可能性があります。その原因となり得る不確実性には、金利や為替レートの変動および商品価格・株価・金融資産価値を含む、現在の経済・金融状況、当社が計画する GE キャピタル・コーポレーション(GECC)の資金調達の可能性やそれに伴う費用、そして、GECC の資産レベルを縮小するための当社の能力に影響を及ぼす、経済・金融市場の状況などが考えられます。また、法人金融・個人向け金融が債務不履行（デフォルト）になるリスク・レベルに影響を与え得る、住宅市場の状況および失業率の推移、当社が現在の信用格付けを保持できる能力、および当社が信用格付けを保持できなかった場合に生じ得る、当社の資金調達費用や競争力への影響、四半期配当を計画どおりに実施する当社の能力に影響を及ぼし得る、当社のキャッシュフローや利益など財務状況の適切性、当社の客先である主要産業（航空会社、鉄道、エネルギー生産、ネットワーク TV、不動産、ヘルスケア、あるいはその他の産業）からの需要およびこれらの顧客企業の経営状況、法律および規制・捜査・法的手続・法令遵守リスクの影響（金融関連法令の影響を含む）、買収・売却など戦略的行為や、買収した事業の統合における当社の成功、さらに政治的、経済的、商業的、競争的な性質を持つ、国や地域、世界規模で起こる、その他の多数の事象が含まれます。こうした不確実性により、将来における GE の実際の業績は「将来予想に関する記述」で述べた内容と実質的に異なる可能性があります。GE は「将来予想に関する記述」を更新する義務は負いません。

本件に関するお問い合わせ

日本 GE コーポレート・コミュニケーション本部
TEL: 03-3588-9500

ゼネラル・エレクトリック・カンパニー

損益計算書
連結

4 - 6 月期				GE (a)			金融サービス(GECS)		
	2010	2009	V%	2010	2009	V%	2010	2009	V%
売上げ									
商品およびサービス売上げ	\$24,504	\$26,078		\$24,403	\$26,012		\$168	\$205	
その他の売上げ	278	34		304	80		-	-	
GECS の継続事業による売上げ	-	-		822	367		-	-	
GECS のサービス売上げ	12,662	12,996		-	-		12,980	13,252	
総収入	37,444	39,108	(4)%	25,529	26,459	(4)%	13,148	13,457	(2)%
売上原価および費用									
商品売上原価、営業管理費および一般管理費	26,255	27,737		20,698	22,336		5,791	5,635	
支払い利息およびその他の財務費用	4,171	4,653		430	348		3,870	4,468	
投資契約・保険損失・保険および年金給付	722	779		-	-		770	823	
貸倒引当金	2,009	2,817		-	-		2,009	2,817	
売上原価および費用合計	33,157	35,986	(8)%	21,128	22,684	(7)%	12,440	13,743	(9)%
税引前の継続事業による利益（損失）	4,287	3,122	37%	4,401	3,775	17%	708	(286)	F
法人税等引当額（引当金）	(885)	(227)		(986)	(897)		101	670	
継続事業による利益	3,402	2,895	18%	3,415	2,878	19%	809	384	F
非継続事業による税引損失	(188)	(194)		(188)	(194)		(188)	(193)	
純利益	3,214	2,701	19%	3,227	2,684	20%	621	191	F
非支配持分の純利益（損失）を差し引く	105	12		118	(5)		(13)	17	
当社に帰属する純利益	3,109	2,689	16%	3,109	2,689	16%	634	174	F
優先株式配当	(75)	(75)		(75)	(75)		-	-	
GE 普通株主に帰属する純利益	<u>\$3,034</u>	<u>\$2,614</u>	16%	<u>\$3,034</u>	<u>\$2,614</u>	16%	<u>\$634</u>	<u>\$174</u>	F
当社に帰属する利益									
継続事業による利益	\$3,297	\$2,883	14%	\$3,297	\$2,883	14%	\$822	\$367	F
非継続事業による税引損失	(188)	(194)		(188)	(194)		(188)	(193)	
当社に帰属する純利益	<u>\$3,109</u>	<u>\$2,689</u>	16%	<u>\$3,109</u>	<u>\$2,689</u>	16%	<u>\$634</u>	<u>\$174</u>	F
継続事業による 1 株あたり利益									
希釈化後	\$0.30	\$0.26	15%						
希釈化前	\$0.30	\$0.26	15%						
1 株当たり純利益									
希釈化後	\$0.28	\$0.25	12%						
希釈化前	\$0.28	\$0.25	12%						
期中平均株式数									
希釈化後	10,702	10,609	1%						
希釈化前	10,685	10,609	1%						
1 株当たり配当額	\$0.10	\$0.10	-						

(a) GECSを含めたエクイティ・ベースでのGEの産業分野事業を対象

単位は百万ドルもしくは百万株。1株当たりの単位はドル。未監査。補足のデータを「GE」および「GECS」欄に示す。
「連結」欄には、GEとGECS間の取引を含まない。連結および修正事項に関する詳細な情報は、www.ge.com/ar2009に掲載されている2009年連結財務諸表の注記1を参照のこと。

ゼネラル・エレクトリック・カンパニー
損益計算書

1月 - 6月期	連結			GE (a)			金融サービス (GECS)		
	2010	2009	V%	2010	2009	V%	2010	2009	V%
売上げ									
商品およびサービス売上げ	\$48,177	\$50,205		\$47,912	\$50,034		\$449	\$478	
その他の売上げ	628	462		680	559		-	-	
GECS の継続事業による売上げ	-	-		1,361	1,346		-	-	
GECS のサービス売上げ	25,244	26,879		-	-		25,870	27,436	
総収入	74,049	77,546	(5)%	49,953	51,939	(4)%	26,319	27,914	(6)%
売上原価および費用									
商品売上原価、営業管理費および一般管理費	52,862	55,140		41,598	43,709		11,789	11,988	
支払い利息およびその他の財務費用	8,332	9,980		773	724		7,808	9,589	
投資契約・保険損失・保険および年金給付	1,469	1,525		-	-		1,557	1,596	
貸倒引当金	4,272	5,153		-	-		4,272	5,153	
売上原価および費用合計	66,935	71,798	(7)%	42,371	44,433	(5)%	25,426	28,326	(10)%
税引前の継続事業による利益（損失）	7,114	5,748	24%	7,582	7,506	1%	893	(412)	F
法人税等引当額（引当金）	(1,316)	82		(1,774)	(1,739)		458	1,821	
継続事業による利益	5,798	5,830	(1)%	5,808	5,767	1%	1,351	1,409	(4)%
非継続事業による税引損失	(578)	(215)		(578)	(215)		(575)	(197)	
純利益	5,220	5,615	(7)%	5,230	5,552	(6)%	776	1,212	(36)%
非支配持分の純利益（損失）を差し引く	166	97		176	34		(10)	63	
当社に帰属する純利益	5,054	5,518	(8)%	5,054	5,518	(8)%	786	1,149	(32)%
優先株式配当	(150)	(150)		(150)	(150)		-	-	
普通株主に帰属する純利益	\$4,904	\$5,368	(9)%	\$4,904	\$5,368	(9)%	\$786	\$1,149	(32)%
当社に帰属する利益									
継続事業による利益	\$5,632	\$5,733	(2)%	\$5,632	\$5,733	(2)%	\$1,361	\$1,346	1%
非継続事業による税引き損失	(578)	(215)		(578)	(215)		(575)	(197)	
当社に帰属する純利益	\$5,054	\$5,518	(8)%	\$5,054	\$5,518	(8)%	\$786	\$1,149	(32)%
継続事業による1株あたり利益									
希釈化後	\$0.51	\$0.53	(4)%						
希釈化前	\$0.51	\$0.53	(4)%						
1株当たり純利益									
希釈化後	\$0.45	\$0.51	(12)%						
希釈化前	\$0.46	\$0.51	(10)%						
期中平均株式数									
希釈化後	10,694	10,585	1%						
希釈化前	10,678	10,585	1%						
1株当たり配当額	\$0.20	\$0.41	(51)%						

(a) GECSを含めたエクイティ・ベースでのGEの産業分野事業を対象

単位は百万ドルもしくは百万株。1株当たりの単位はドル。未監査。補足のデータを「GE」および「GECS」欄に示す。「連結」欄には、GEとGECS間の取引を含まない。連結および修正事項に関する詳細な情報は、www.ge.com/ar2009に掲載されている2009年連結財務諸表の注記1を参照のこと。

ゼネラル・エレクトリック・カンパニー
セグメント別業績の要約 (未監査)

(単位：100万ドル)	6月30日までの 3ヶ月間			6月30日までの 6ヶ月間		
	2010	2009	V%	2010	2009	V%
売上げ						
エナジー・インフラストラクチャー (a)	\$ 9,540	\$ 10,459	(9)%	\$ 18,195	\$ 19,541	(7)%
テクノロジー・インフラストラクチャー(a)	9,061	9,637	(6)%	17,720	19,160	(8)%
NBC ユニバーサル	3,750	3,565	5%	8,070	7,089	14%
GE キャピタル(a)	12,297	12,736	(3)%	24,628	26,511	(7)%
ホーム&ビジネス・ソリューションズ(a)	2,250	2,169	4%	4,190	4,093	2%
全セグメントの売上げ	36,898	38,566	(4)%	72,803	76,394	(5)%
セグメント間取引の消去および本社勘定	546	542	1%	1,246	1,152	8%
継続事業による連結売上げ	\$ 37,444	\$ 39,108	(4)%	\$ 74,049	\$ 77,546	(5)%
セグメント別利益 (b)						
エナジー・インフラストラクチャー(a)	\$ 1,910	\$ 1,863	3% (11)	\$ 3,391	\$ 3,181	7%
テクノロジー・インフラストラクチャー(a)	1,554	1,743	%	2,957	3,445	(14)%
NBC ユニバーサル	607	539	13%	806	930	(13)%
GE キャピタル(a)	830	431	93%	1,437	1,460	(2)%
ホーム&ビジネス・ソリューションズ(a)	143	90	59%	214	135	59%
全セグメントの利益	5,044	4,666	8%	8,805	9,151	(4)%
セグメント間取引の消去および本社勘定	(331)	(538)	38%	(626)	(955)	34%
GE 金利およびその他の金融手数料	(430)	(348)	% (24)	(773)	(724)	(7)%
GE 法人税引当金	(986)	(897)	% (10)	(1,774)	(1,739)	(2)%
継続事業による利益	3,297	2,883	14%	5,632	5,733	(2)%
非継続事業による税引き損失	(188)	(194)	3%	(578)	(215)	U
連結純利益	\$ 3,109	\$ 2,689	16%	\$ 5,054	\$ 5,518	(8)%

(a)セグメントを再編し2010年1月1日より施行。それ以前の金額に関しては当期の表示内容に合致するように再分類された。

(b)セグメント別利益の評価対象から常に除外される項目は、主要な年金プラン、非継続事業、非支配持分および会計処理変更による影響である。また、事業再編や合理化による費用、進行中の研究および開発、事業取得に関わる費用および差額、技術および製品開発コスト、処分に伴う利益または損失、訴訟の和解やその他費用など、現経営陣の前任者に責を帰すべきものについては、算入しない場合もある。セグメント別利益は、セグメント別の経営評価方法に応じて、利息やその他財務費用、法人税等を算入する場合も、除外する場合もある。セグメント別利益からこれらを除外しているのは、テクノロジー・インフラストラクチャー、エナジー・インフラストラクチャー、NBCユニバーサル、ホーム&ビジネス・ソリューションズであり、これは営業利益とも言えるものである。セグメント別利益にこれを含めているのは、金融事業で、これは純利益とも言えるものである。

ゼネラル・エレクトリック・カンパニー

セグメント別業績の要約（未監査）

追加情報

(単位100万ドル)	6月30日までの 3ヶ月間			6月30日までの 6ヶ月間		
	2010	2009	V%	2010	2009	V%
エナジー・インフラストラクチャー						
売上げ	\$ 9,540	\$ 10,459	(9)%	\$ 18,195	\$ 19,541	(7)%
セグメント利益	\$ 1,910	\$ 1,863	3%	\$ 3,391	\$ 3,181	7%
売上げ						
エナジー	\$ 8,027	\$ 8,686	(8)%	\$ 15,232	\$ 16,470	(8)%
オイル & ガス	1,774	1,948	(9)%	3,367	3,491	(4)%
セグメント利益						
エナジー	\$ 1,661	\$ 1,614	3%	\$ 3,000	\$ 2,810	7%
オイル & ガス	292	283	3%	483	462	5%
テクノロジー・インフラストラクチャー						
売上げ	\$ 9,061	\$ 9,637	(6)%	\$ 17,720	\$ 19,160	(8)%
セグメント利益	\$ 1,554	\$ 1,743	(11)%	\$ 2,957	\$ 3,445	(14)%
売上げ						
アビエーション	\$ 4,259	\$ 4,619	(8)%	\$ 8,424	\$ 9,436	(11)%
ヘルスケア	4,102	3,964	3%	7,835	7,509	4%
トランスポテーション	709	1,069	(34)%	1,475	2,240	(34)%
セグメント利益						
アビエーション	\$ 879	\$ 923	(5)%	\$ 1,678	\$ 2,003	(16)%
ヘルスケア	661	590	12%	1,158	1,001	16%
トランスポテーション	26	236	(89)%	141	453	(69)%

(次ページへ続く)

GE キャピタル

売上げ	\$	12,297	\$	12,736	(3)%	\$	24,628	\$	26,511	(7)%
-----	----	--------	----	--------	------	----	--------	----	--------	------

セグメント利益	\$	830	\$	431	93%	\$	1,437	\$	1,460	(2)%
---------	----	-----	----	-----	-----	----	-------	----	-------	------

売上げ

CLL(a)	\$	4,506	\$	5,306	(15)%	\$	9,100	\$	10,986	(17)%
コンシューマー(a)		4,832		4,851	-		9,796		9,563	2%
リアル・エステート		991		1,014	(2)%		1,935		1,989	(3)%
エネルギー・フィナンシャル・サービス		595		490	21%		1,386		1,134	22%
GECAS(a)		1,259		1,163	8%		2,498		2,266	10%

セグメント利益

CLL(a)	\$	312	\$	243	28%	\$	544	\$	481	13%
コンシューマー(a)		735		252	F		1,328		989	34%
リアル・エステート		(524)		(237)	U		(927)		(410)	U
エネルギー・フィナンシャル・サービス		126		65	94%		279		140	99%
GECAS(a)		288		285	1%		605		546	11%

(a)2009年の第1四半期の間にトランスポーターション・ファイナンス・サービスの事業をGECASからCLLへと移動させ、イタリアのコンシューマー・ビジネスをコンシューマーからCLLへと移動させた。それ以前の金額に関しては当期の表示内容に合致するように再分類された。

ゼネラル・エレクトリック・カンパニー
連結貸借対照表

(単位10億ドル)

	連結		GE (a)		金融サービス(GECS)	
資産	6/30/10	12/31/09	6/30/10	12/31/09	6/30/10	12/31/09
現金および有価証券	\$ 116.0	\$ 124.2	\$ 12.9	\$ 8.7	\$ 103.6	\$ 116.3
受取手形および売掛金	17.6	16.5	9.5	9.8	-	-
棚卸資産	11.4	12.0	11.3	11.9	0.1	0.1
GECS の金融債権—純額	324.1	329.2	-	-	333.3	336.9
固定資産—純額	65.4	69.2	11.7	12.5	53.7	56.7
GECS に対する投資	-	-	67.3	70.8	-	-
営業権・無形固定資産	74.0	77.5	44.1	45.1	29.9	32.4
その他の資産	106.8	117.6	16.8	17.0	95.5	106.2
売却対象事業の資産	33.3	34.1	32.7	34.0	0.6	0.1
非継続事業の資産	1.3	1.5	0.1	0.1	1.2	1.5
総資産	\$ 749.9	\$ 781.8	\$ 206.4	\$ 209.9	\$ 617.9	\$ 650.2
負債および資本						
借入金および銀行預金	\$ 489.7	\$ 510.2	\$ 9.9	\$ 12.2	\$ 481.7	\$ 500.3
保険契約・保険負債・						
年金保険給付	30.5	31.6	-	-	31.0	32.0
その他の負債	97.2	107.5	66.6	68.4	35.3	43.9
売却対象事業の負債	10.4	6.1	10.1	6.0	0.3	0.1
非継続事業の負債	1.4	1.3	0.2	0.2	1.2	1.1
株主資本	113.9	117.3	113.9	117.3	67.3	70.8
非支配持分	6.8	7.8	5.7	5.8	1.1	2.0
負債および資本合計	\$ 749.9	\$ 781.8	\$ 206.4	\$ 209.9	\$ 617.9	\$ 650.2

(a) GECSを含めたエクイティ・ベースでのGEの産業事業分野を対象

2010年6月30日現在。未監査。補足のデータを「GE」および「GECS」欄に示す。「連結」欄にはGEとGECS間の取引を含まない。
連結および修正事項に関する詳細な情報はwww.ge.com/ar2009に掲載されている2009年連結財務諸表の注記1を参照のこと。

ゼネラル・エレクトリック・カンパニー
GAAPデータを補足する財務諸データ

GAAP 基準で作成されていない連結財務諸表の情報を使用する場合があります。この種のデータは、SEC基準では「非GAAP財務指標」として扱われます。こうした非GAAP財務指標は、本リリースで発表したGAAP指標を補足するものであり、代替するものではありません。ここで取り上げるのは、2010 年上期（6月30日までの6ヶ月）の産業分野の営業活動によるキャッシュフロー（インダストリアルCFOA）の前年同期と比較、2010年第2四半期（6月30日までの3ヶ月）におけるインダストリアルCFOAです。これらのデータは後に最も比較に適したGAAP基準と照合されます。

（単位100万ドル）

	6月30日までの 6ヶ月間		
	2010	2009	V%
<u>インダストリアル CFOA の増加</u>			
GE の営業活動で得たキャッシュ	\$ 6,314	\$ 7,044	
GECS からの配当を差し引く	-	-	
GECS からの配当を除いた GE の営業活動でえたキャッシュ (インダストリアル CFOA)	\$ 6,314	\$ 7,044	(10)%
	6月30日までの 3ヶ月間		
GE の営業活動で得たキャッシュ		\$ 3,763	
GECS からの配当を差し引く		-	
GECS からの配当を除いた GE の営業活動でえた キャッシュ(インダストリアル CFOA)		\$ 3,763	

インダストリアルCFOAはGEが営業活動で得たキャッシュからGECSからの配当金を差し引いたものです。これには次の社内取引による影響が含まれます。GEからGECESへ販売されたGE顧客の受取債権、売上債権管理・資材調達などのGECSのサービス、ビルや機器（自動車を含む）のGECSからGEへのリース、GEからGECSへの情報技術（IT）などのサービスの販売、GECSがリース用にサードパーティのメーカーから購入した航空機に搭載されているGEが製造した航空機エンジン、その他の投資、貸付金、会社運営諸経費の配分。GECSからの配当を除いてGEが営業活動からどれだけキャッシュを得られるかは投資家の皆様の有用な判断材料になるかと思えます。GECSからの配当金を除くのは、産業事業分野で得るキャッシュフローを反映しないこと、ならびに期毎に金融サービス事業の業績が大きく変動するためです。このキャッシュフローのデータは、産業事業と金融事業の双方を営む企業との比較には役立たないかもしれませんが、金融サービス事業から得ている配当の額について追加情報を得ることで、比較が可能になります。このデータは金融サービス（GECS）のキャッシュフロー報告書に記載されています。インダストリアルCFOAは、産業事業分野のキャッシュを生み出す実力を経営陣ならびに投資家の皆様が正確に判定し、他の非金融業の事業や企業と比較するのに有用と考えるため、GAAP規則によるCFOA値を補足するデータを掲示しています。